

途上国アルバム：エジプト

池田明子

エジプトカイロ在住、上級総務担当官
国連食糧農業機関、北アフリカ中近東地域事務所

カイロ（写真 1-8）



アスワン（写真 9-12）

前世がアラブ人だったのか、以前から住みたい都市が 3 つありました。イスタンブール、ベイルートそしてカイロ。イスタンブールには住んではいませんが何回も訪ねたし、ベイルートには国連の仕事で 3 年間滞在しました。そしてカイロに国連の仕事で勤務することは無縁だと思っていましたが、2019 年末に FAO に異動してか不思議にも、カイロ勤務が実現することになりました。エジプトの魅力は観光大国と、アラブ文化の中心地ということとでしょう。古代エジプト文明の、ユネスコの世界遺産が国のあちこちにあるほか、世界に誇るアラブ文学、映画、音楽などはカイロを中心に繁栄しましたし、これ等に関するスポットや見どころがカイロ市内にたくさんあります。エジプト滞在 3 年を迎え、今回は様々なエジプトの魅力を紹介したいと思います。

まずエジプトといえば、ピラミッドと世界一長い河川のナイル川です（写真 1 と 2）。カイロの中心地から車で約 30 分走れば、古代エジプト時代のピラミッドが見えます。当初は知らなかったのですが、実はこのギザ地区に大小合わせて約 12 個のピラミッドがあるといます。いつ訪れても、その大きさと歴史の深さに感動します。もちろんピラミ

ッドの前には、ライオンの体に人間の頭のスフィンクスがあります。古代エジプトの遺跡を訪ねるとスフィンクスをあちらこちらで見かけるのですが、ギザのスフィンクスは最大とのこと。さて、今ピラミッドといえば大エジプト考古学博物館です。現在建設中です（写真 3）。英語で The Great Egyptian Museum (GEM) といいます。まさに GEM= 宝石です。建設はほとんど完成しており、JICA が建設及び作品の保存、展覧及び経営に携わっています。現在、タヒリール広場にあるエジプト博物館はまだ開いています（写真 4）。



写真 1 ギザ地区のピラミッド



写真 2 ナイル川とファルーカ



写真 3 新大エジプト博物館



写真 4 現在の博物館

これから徐々に展覧物を GEM へ移動させるということです。GEM のオープニングは、コロナ感染大流行のため延期になってしまったとのことですが、来年の 6 月に予定されているらしいです。きっと盛大に行われることでしょう。ちなみに現在のエジプト博物館(写真 4)には、有名なツタンカーメンの黄金のマスクがまだ残っており、これは大宝ですので後の移動となるらしいです。

アラブ諸国の中でエジプトは文化の中心地です。文学でいうと、1998 年にノーベル文学賞を受賞したナギーブ・マフフーズ氏が有名です。アラブ諸国で初の受賞者だったマフフーズ氏は、35 冊もの小説を書きました。代表作は「カイロ三部作」「欲望の裏通り」などがあります。日本語にも訳されています。マフフーズ氏の作品の多くはカイロ市内を舞台としており、実際にまだ存在する通りなどが作品に出てきます。マフフーズ氏がこれらの作品を書いたといわれる「鏡の喫茶店」は、有名なバザール・ハーンハリリの中にあります。古くて大きな鏡が多くありエキゾチックな雰囲気を出しています(写真 5)。マフフーズ氏は「鏡の喫茶店」のほかカイロ中心部の喫茶店でもいくつか作品を書いていたとのこと。ドッキにある実家からカイロ中心部まで歩いて一時間はかかるのですが、ナイル川の橋を渡り歩いて喫茶店に通い世に作品を残していったのです。

皆さんはアラブ音楽を聞いたことがありますか。アラブ地域では、音楽といえばエジプトかレバノンが主です。エジプトの歌姫といえばまずウム・カルツームでしょう。ナイル川のナイチンゲールと言われた彼女の曲は、死後 46 年たった今でもタクシーや喫茶店やレストランでもかかっています。貧しい農村で育ちコーランを唱えながら結婚式などで歌いはじめ、カイロでデビュー。生涯にわたり約 40 年間歌った曲は、エジプトのみならず他のアラブ諸国の人々を感動させました。彼女の曲はイントロが長いのが特徴で、長いイントロでじわじわとアラブ人たちの感情を奮い立たせて、曲のクライマックスに入ります。黒いサングラスをかけ、ハンカチを持ちながら歌うのが彼女の永遠のスタイルです。私が住んでいるザマレック地区に建つ、彼女が過去に住んでいたというアパート(現在はホテルに改装された)を訪ねてみました。そのホテルには部屋番号がなく、彼女の曲名が部屋の番号となっています。カルツームさんの一番有名な曲「あなたは私の人生」の部屋に予約を入れるお客さんたちは、やはりその歌のファンだと聞きました。(写真 6)。

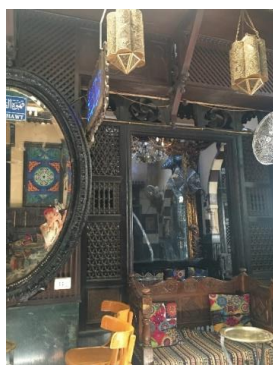


写真 5 「鏡の喫茶店」



写真 6 ウム・カルツームの銅像とホテル



写真 7 歌手ハフエーズさんのアパート



写真 8 市内にある猫ステーション

さて、エジプトの歌手でカルツームさんの男性版といきましょうか、もう一人のレジェンドシンガー、アブデルハリム・ハフェーズさんをご紹介します。カルツームさんに比べハフェーズさんの曲はややテンポが早く、ベリーダンスを始めると必ずといっていいほど練習中にかかるのが、ハフェーズさんの有名な「空気のように」という定番曲です。彼の声は深みがあってやさしく、優れた曲を次々に発表し、あっという間に大人気歌手となりましたが、48歳で若くして病気でなくなりました。彼の国葬の日はファンだった女性が5人、自ら命をたつたというくらいの国民的人気でした。ハフェーズさんが昔住んでいたアパートが、現在私が住んでいるザマレックのアパートの目の前ということもあり、私はハフェーズさんの曲をよく聞きます。カイロには有名人のアパートの下には小さなパネルが貼ってあって、パネルを見ながらの散歩もカイロ市内の楽しい一時です（写真7）。

カイロ市内を歩いていて気づくことは、猫が多いということです。街中のどこにでも猫さんたちがいます。イスタンブールでもそうでした。そしてカイロもイスタンブールも街中に猫ステーションのような場所があり、歩く人々が残した食べ物をこっそりおいていくのです。古代エジプトでも猫は大切にされ、特に美女クレオパトラが最も好んだ動物だったとか。カイロの街角にもこのような小さな猫ステーションがあり、この美しいトルコ猫（目の色が違う猫はトルコのヴァン湖から来たヴァン猫といいますが）が可愛い顔をぬっと出してご飯をいただいているのです。この子は東トルコからエジプトまでどうやって旅をしたのでしょうか（写真8）。



写真 9 ユネスコ世界遺産アブ・シンベル神殿（アスワン）



写真 10 オールドカタラクトホテル



写真 11 俳優の故オマル・シェリフ



写真 12 ナイル川の眺め

さて、カイロから南に旅をしましょう。カイロからアスワンまでは約685キロ、スーダン国境まであと300キロです。アスワンは文化的に言いますと、独特の文化と言語を持つヌビアです。アスワンには、砂漠の真ん中にあるユネスコの世界遺産、ラムセス2世の巨大なアブ・シンベル神殿があります（写真9）。このアブ・シンベル神殿を訪れるにはアスワンの街に一泊し

なければなりません。ここでアスワンの素晴らしいホテルを紹介しましょう。オールドカタラクトホテルです（写真 10）。このホテルにはイギリスのチャーチル元総理、「アラビアのロレンス」「ドクトルジバゴ」で有名なエジプト人俳優のオマル・シェリフ（写真 11）、あるいは元ヨルダン王国妃のヌール妃殿下などが宿泊したホテルです。また、このホテルに滞在したイギリス人の推理小説作家アガサクリスティーは、「ナイル川殺人事件」をこのホテルの部屋で書いたといひます。オールドカタラクトホテルには、アガサクリスティーの部屋とチャーチル元総理の部屋が VIP の部屋として今も保存されていて宿泊もできます。ナイル川沿いにあるこのホテルのテラスで朝食をとっていると、クルーズ船に客が一人一人乗る「ナイル川殺人事件」のシーンを思い出させます（写真 12）。

エジプトにはまだまだ訪れたい場所が多く、国連の年間休みのスケジュールとにらめっこです。今年はいはカイロ郊外の白黒砂漠という場所で、クジラの谷と呼ばれるクジラの骨を見学しました。そのあたりは何億年も前には、海だったそうです。また紅海はシャルムシェイクやハルゲダなどのリゾート地が有名で、見たことのないようなダイナミックな珊瑚礁とカラフルな魚をスノーケリングでも十分に見ることができます。来年はぜひジュゴンとウミガメに出会いたいと思います。早く新型コロナのパンデミックが終結して、みなさんにもエジプトを訪れていただきたいと思います。